

盛岡 広域振興局長 様

提出者 森永乳業株式会社盛岡工場

住所 〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-3-14

氏名 工場長 佐藤 昭佳

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	森永乳業株式会社 盛岡工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-3-14	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,174 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	1 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

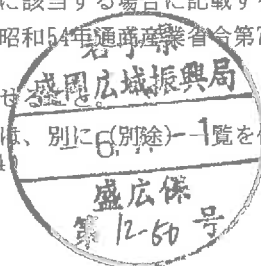
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡工場	〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-3-14	3,174 kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別添）-1覧を作成の上、添付してください。

(A 4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二 酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位 B	熱量(GJ) C	数値 D	単位 E	熱量(GJ) F				
化石 燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
	揮発油(ガソリン)		kL			kL					
	ナフサ		kL			kL					
	ジェット燃料		kL			kL					
	灯油		kL			kL					
	軽油		kL			kL					
	A重油	54	kL	2,101		kL		2,101	149	81	67
	B・C重油		kL			kL					
	石油アスファルト		t			t					
	石油コークス		t			t					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	5.85	t	293		t	293	18	18	0
	可燃性天然ガス	石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³				
		液化天然ガス(LNG)		t			t				
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³				
	石炭	輸入原料炭		t			t				
		原料炭		t			t				
		コークス用原料炭		t			t				
		吹込用原料炭		t			t				
		一般炭		t			t				
		国産一般炭		t			t				
		輸入無煙炭		t			t				
	石炭コークス		t			t					
	コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
高炉ガス		千m ³			千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス	1,165.39	千m ³	50,193		千m ³	50,193	2,552	2,669	-116	
	()										
	()										
非 化 石 燃料	黒液		t			t					
	木材		t			t					
	木質廃材		t			t					
	バイオエタノール		kL			kL					
	バイオディーゼル		kL			kL					
	バイオガス		千m ³			千m ³					
	その他バイオマス		t			t					
	RDF		t			GJ/t					
	RPF		t			GJ/t					
	廃タイヤ		t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
	廃油		kL			GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
	混合廃材		t			t					
	水素		t			t					
	アンモニア		t			t					
	その他燃料()										
	小 計 ①							52,586	2,718	2,767	-49
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
	小 計 ②										
	電気事業者①	8,150.57	千kWh	70,421		千kWh		70,421	3,839	4,014	-175
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh					
自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
	水力		千kWh			千kWh					
	風力		千kWh			千kWh					
	その他		千kWh			千kWh					
小 計 ③							70,421	3,839	4,014	-175	
合 計 ④=①+②+③							123,007	6,557	6,782	-224	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	3,174	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	6,557 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	
メタンの排出量		
一酸化二窒素の排出量		
六フッ化硫黄の排出量		
パーフルオロカーボンの排出量		
六ふッ化硫黄の排出量		
三ふッ化窒素の排出量		
合 計		6,557 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- (目標値) ① CO2排出量を2030年までに2013年度比で23%以上削減する。
2023年度 年間排出量 6,740 t-CO2 以下
- ② エネルギーの使用に係る原単位を毎年前年比1%改善する。
2023年度 原単位 0.167 以下
原単位=エネルギー使用量原油換算/売上金額
(エネルギー使用量原油換算3,174kL, 売上金額 20,691.93百万円)

(達成状況)

- ① 2023年度 年間排出量 6,557 t-CO2 (目標クリア)
- ② 2023年度 エネルギーの使用に係る原単位 0.153 (目標クリア)

【具体的な取組状況】

- ・空調機節電対策
AC2, AC4空調機運転方法改善 電力削減 52.8千kWh/年
エアコン節電機器(コンティニューム)導入 電力削減 2.8千kWh/年
- ・冷凍機節電対策
アイスバンク冷却水(RM系)回収 電力削減 11.2千kWh/年
- ・ロス低減・漏れ対策
スチームトラップの不良箇所調査, 蒸気漏れ修繕 蒸気ロス改善 155.6t/年
蒸気配管の保温改善、放熱ロス低減 蒸気ロス改善 8.3t/年
エア漏れ箇所調査, エア漏れ修繕 電力削減 26.3千kWh/年
- ・水処理設備節電対策
ろ過水ポンプインバータ化 電力削減 10.6千kWh/年
飲適水プレッシャーポンプ更新 電力削減 4.8千kWh/年

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・用水使用量 目標:329千m3/年以下 実績:307千m3/年 目標達成
主な取り組み:チルド水回収、MDUポンプ冷却水削減、各所漏れ点検・修理による用水削減、
洗浄方法の見直し、冷却水運用方法の改善
- ・食品廃棄物発生量 目標:650t/年以下 実績:551t/年 目標達成
主な取り組み:充填機アウトライン回収方法変更、製造工程の安定稼働、ロットアウトトラブル削減
- ・産業廃棄物排出量 目標:400t/年以下 実績:410t/年 目標未達、廃棄物圧縮機故障により重量増加
主な取り組み:製造工程の安定稼働、ロットアウトトラブル削減

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（ 年度）

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	1 (1)	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
L P G	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	1 (1)			kg-CO ₂	

備考 1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項